

# 一般社団法人日本体力医学会定例理事会（2014年11月）議事録

日 時：2014年11月21日（金）午後5時30分～7時30分

場 所：八重洲倶楽部 第2・3会議室

議 長：下光輝一理事長

出席者：下光輝一，荒尾 孝，碓井外幸，小野寺昇，  
勝村俊仁，栗原 敏，鈴木政登，武政 徹，  
田中喜代次，田畑 泉，永富良一，浜岡隆文，  
福永哲夫，山内秀樹，吉岡利忠（各理事），  
小林康孝（監事），  
立身政信（第71回大会長・岩手）

欠席者：大野 誠，川久保清，川原 貴，坂本静男，  
定本朋子，下村吉治，竹森 重，田中宏暁，  
鳥居 俊，西平賀昭（各理事），  
能勢 博（監事），  
菅原正志（第69回大会長・長崎），  
田島文博（第70回大会長・和歌山）

## 【審議事項】

### 1. 前回議事録の承認

理事会開催中に各自で議事要旨の内容確認を行い、訂正等がある場合は申し出ていただくこととし、理事会終了後に承認とすることとした。

### 2. 日本体力医学会健康科学アドバイザー新規申請者について（碓井称号委員長）

日本体力医学会健康科学アドバイザーの新規申請者2名の氏名リストが提示され、承認された。

### 3. 大塚スポーツ医・科学賞選考規定について（吉岡理事）

大塚スポーツ医・科学賞選考規定案が提示され、「奨励賞」については日本体力医学会の選考委員が選考し、「特別賞」については大塚製薬株式会社が選考するものと説明がなされた。審議の結果、学会が設ける賞に企業側が選考するという事が利益相反になりかねないため、継続審議とした。

### 4. プロジェクト委員会規程について（田中（喜）委員長）

プロジェクト研究の改定案が資料として提示され、まず研究テーマの見直しが提案され、以下のテーマで今年度は募集する事が承認された。また、採択件数と助成額の改定案については継続審議とした。

研究テーマ

- 1) 国民の健全な発育・発達に資する研究
- 2) 中高齢者の健康長寿に資する研究
- 3) アスリートの障害予防または競技力向上に資する研究
- 4) そのほか（特別な学術的貢献が期待できる課題）

### 5. 編集委員会規程について（鈴木委員長）

編集委員会規程の改定案が提示され、承認された。

### 6. 選挙管理委員会規程および役員の選出に関する規定について（小野寺総務委員長）

前回理事会の意見を反映させた選挙管理委員会規程及び役員の選出に関する規定が提示され、承認された。

また、次回理事会に選挙スケジュールを提示する予定であると報告があった。

### 7. 選挙管理委員会委員について（下光理事長）

選挙管理委員会構成のリストが提示され、承認された。

委員長：西平 賀昭（筑波大学）

委員：坂本 静男（早稲田大学）

委員：大野 誠（日本体育大学）

### 8. 委員会委員の任期について（小野寺総務委員長）

定款変更により、理事の任期が3年から2年に変更になったため、各委員会委員の任期の変更を学会HPでお知らせしていたが、委員会規程も改定する必要があると報告がなされた。現在の委員についての委嘱状を再発行する手続きもあるため、早急に持ち回り審議で委員会規程の改定を審議したいと提案がなされ、了承された。準備が整い次第持ち回り審議を行い、承認後に任期延長を記載した委嘱状を発行することとなった。

### 9. 脳血管病予防に関する包括的リスク管理チャートについて（永富渉外委員長）

日本動脈硬化学会中心に10学会合同で作成している脳血管病予防に関する包括的リスク管理チャートの第10版が提示され、一部修正依頼をする事を前提に承認された。

## 【報告事項】

### 1. 各種委員会報告

#### 1) 総務委員会（小野寺委員長）

学術連合より第1回体育系学術連合大会の企画提案についての依頼があり、プログラム委員会と学術委員会にコーディネーターの人選をお願いしたいと依頼がなされた。

#### 2) 編集委員会（鈴木委員長）

・JPFISM誌の“Web of Science”への申請準備とお願いについて

10月10日に「JPFISM誌の“Web of Science”への申請準備とお願い」を学会HPに掲載し、JPFISM誌に掲載された論文を引用してもらうよう依頼したと報告がなされた。

・日本医学雑誌編集者会議について

11月5日に、第7回日本医学雑誌編集者会議（JAMJE）総会・第7回シンポジウムに参加し、シンポジウム「不正論文と編集者の責務」の一部資料を、学会HP上に掲載（内閣府のHPリンク）したと報告がなされた。

・投稿状況について

2014年9月1日～10月19日の期間でJPFISM誌に11編新規投稿があり、その内不採択4編、倫理審査が無い論文が2編、残りの5編は審査中であること、体力科学誌については同じく11編投稿があったと報告がなされた。

・JPFISM誌の5号について

JPFISM誌の5号が2014年12月25日に発行予

定, Reviews: 3編, Short Reviews: 3編, Regular Articles: 3編が掲載される予定であると報告がなされた。

3) 渉外委員会 (永富委員長)

- ・ ECSS-JSPFSM 交流シンポジウムについて  
2016年ウィーンの公募は1件もなく、委員会から福典之先生に打診し、“Genetics of sports performance and its applications to health science”をテーマにECSSの委員会で審議中との途中経過が報告された。採択されれば、旅費の援助を行うと報告がなされた。
- ・ ACSM 参加助成について  
例年通りACSM参加助成の公募を学会HP上で行う予定であると報告がなされた。
- ・ ACSM Exercise is Medicine 事業との連携について  
日本医師会健康スポーツ医学委員会、臨床運動療学会、本学会研修制度との連携については、引き続き検討していくと報告がなされた。

4) 広報委員会 (武政委員長)

学会HPの英文化を進めており、配布資料の現役員の氏名・所属および歴代大会長の氏名・所属について、誤字がないかを確認してほしいと依頼がなされた。

5) プログラム委員会 (荒尾委員長)

配布資料により、第70回和歌山大会での理事会企画のプログラム案として以下の企画が提案され、理事会で了承された。詳細については今後詰めていく事となった。

- (1) 人を対象とした研究倫理に関する企画 (教育講演, シンポジウム, ワークショップなど)
- (2) 今後の介護予防に果たす体力医学とは (シンポジウム)
- (3) その他

6) 将来構想検討委員会 (永富委員)

配布資料により、長崎大会時に開催された委員会

の議事録が提示され、「研究の進歩、発展を促進する活動」として、予算の範囲内で渉外委員会と連携し検討を進める事、「学会の基盤を固めて安定した学会の運営を可能にすること」として、冊子体の会員名簿を廃止し、費用を抑えた中で進めていくと報告がなされた。また、メールニュースとして会員に対して学会誌の目次を配信してはどうかと意見が出たと報告がなされた。

2. 第69回 (長崎) 大会報告 (小野寺総務委員長)

配布資料により、以下の事項について報告がなされた。

参加総人数：1,740名

総演題数：902演題

女性座長割合：14.8% (13名/88名)

3. 第71回 (岩手) 大会の進捗状況 (立身第71回大会長)

大会の準備状況等について報告がなされた。

会期：2016年9月23日(金) - 25日(日)

会場：アイーナ, マリオス

4. その他

1) 健康日本21推進全国連絡協議会について

(下光理事長)

配布資料により、健康日本21推進全国連絡協議会へ入会申請を行った結果、先方より入会決定の連絡があった旨、報告がなされた (平成26年11月1日付入会)。

2) 国立大学教育研究評価委員会専門委員の推薦について (小野寺総務委員長)

独立行政法人大学評価・学位授与機構より、国立大学教育研究評価委員会専門委員の推薦依頼の文書が到着し、総務委員会で推薦する方を人選し、理事長に報告の上、手続きを進めていくと報告がなされた。